

新たな中・長距離バスターミナルの整備

● 都心・三宮再整備の背景

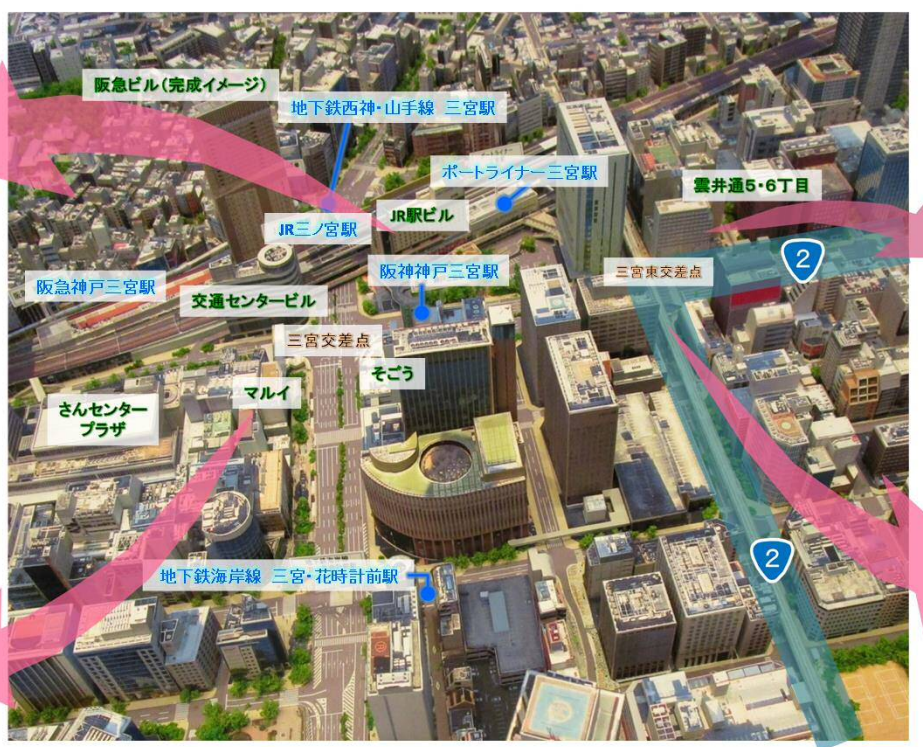
まちの課題

阪神・淡路大震災後も、三宮駅周辺では機能更新が進んでおらず、**周辺民間施設の老朽化**が進行。

交通の課題

6つの鉄道駅、6つの中・長距離バス停が点在し、乗換え利便性が非常に低い。

建替を検討しているJR駅ビル



バスの集中や乗降場起因する交通渋滞



玄関口として課題のある小規模ビル群

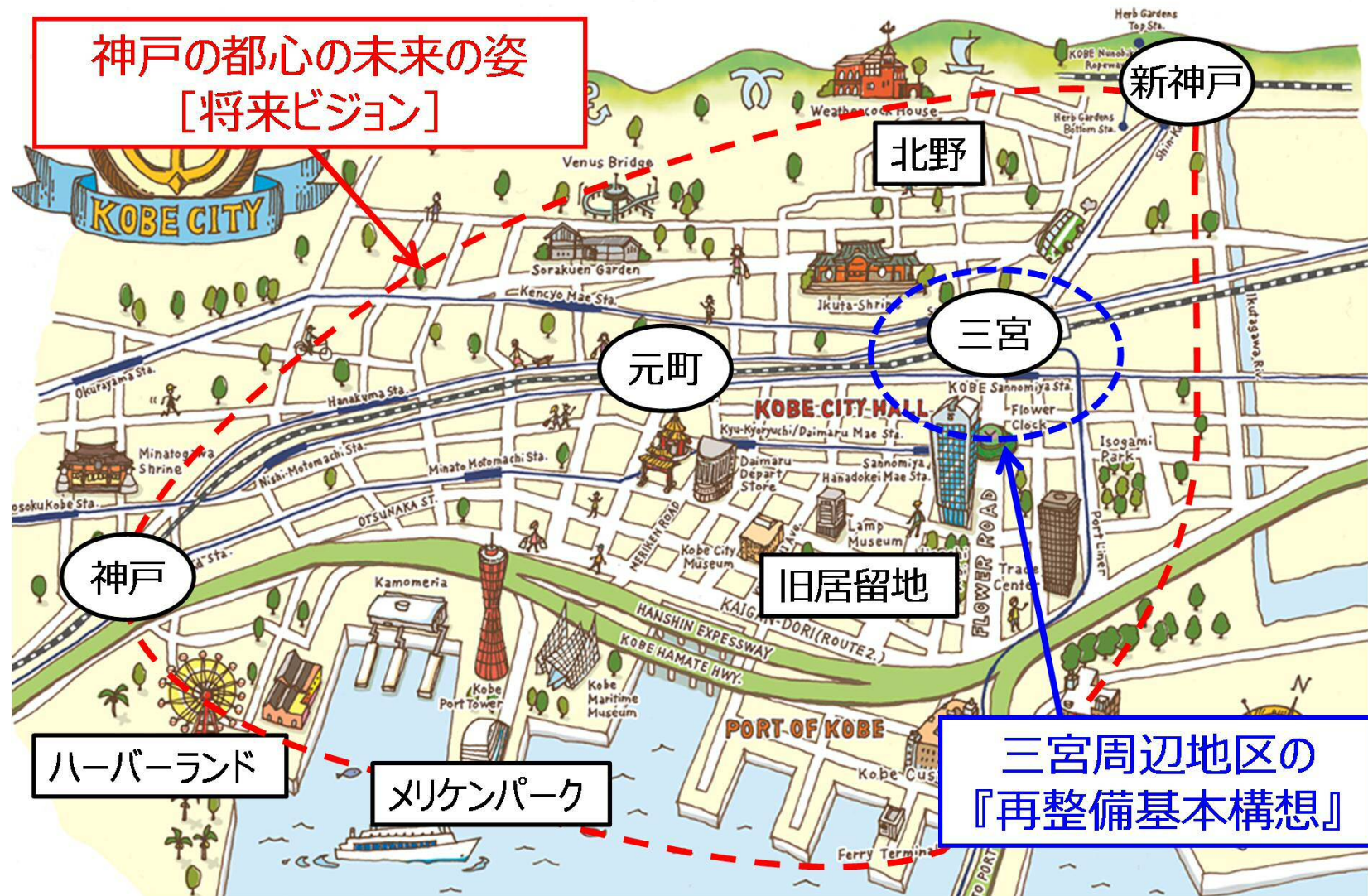


バスと歩行者の交錯による交通事故の危険性



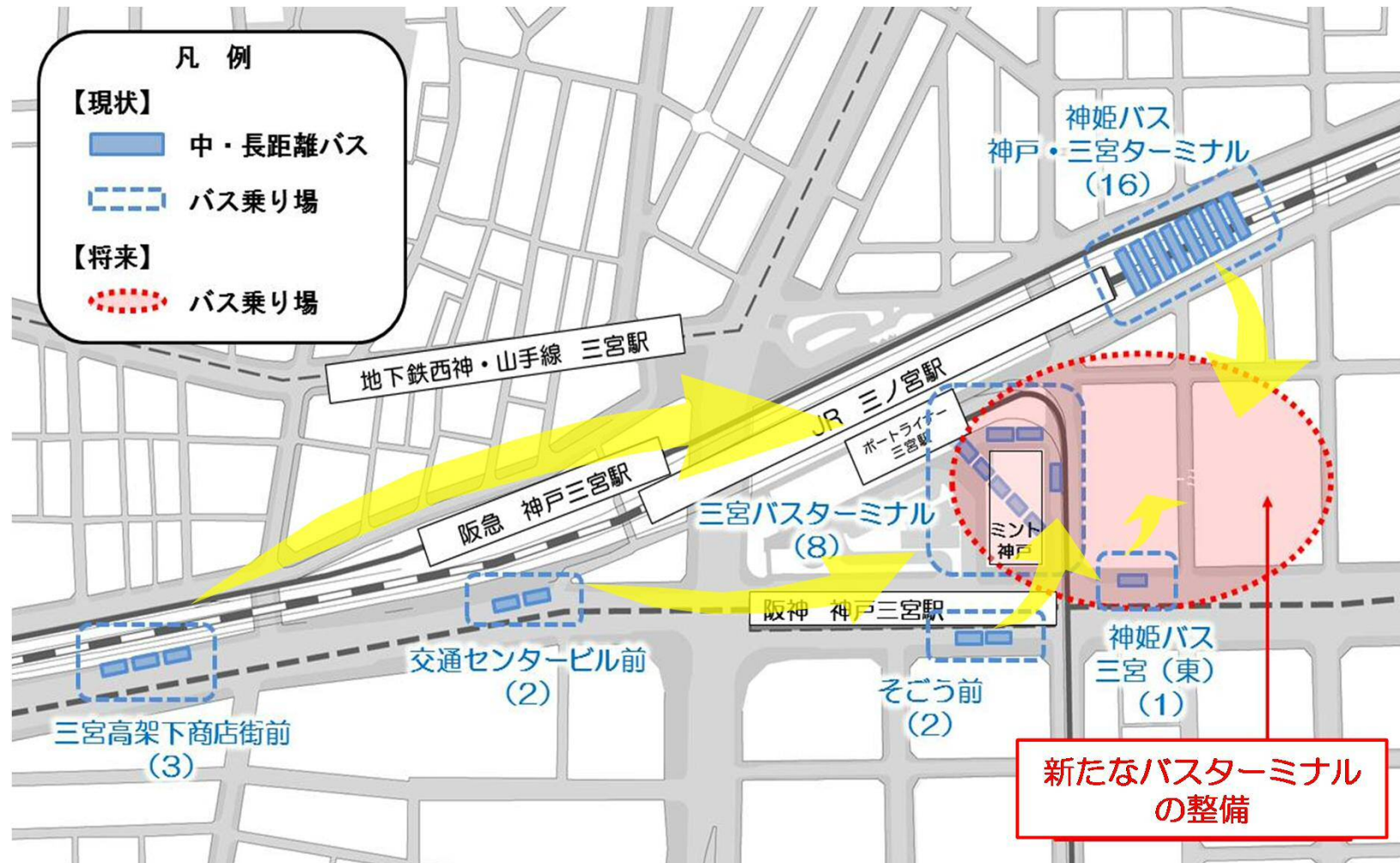
新たな中・長距離バスターミナルの整備

●対象エリア

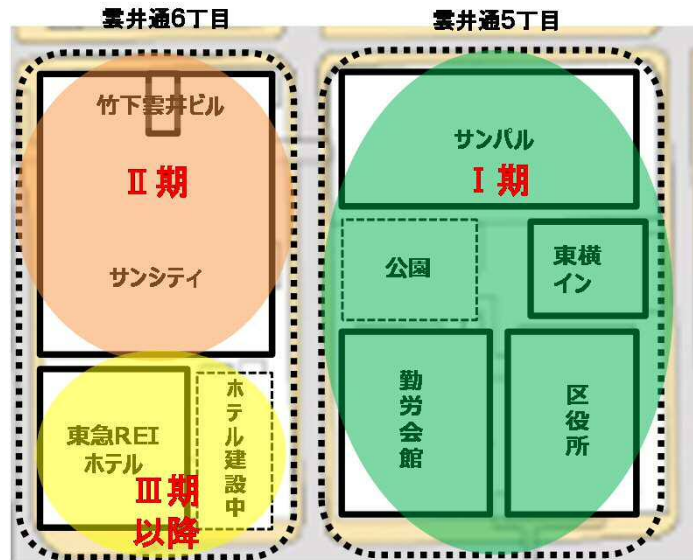


新たな中・長距離バスターミナルの整備

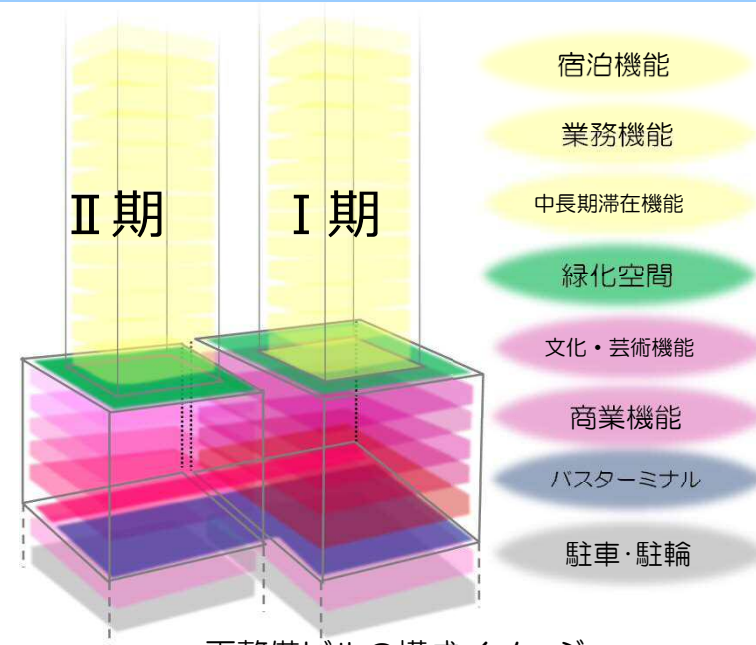
6箇所に分散したバス停を集約し、
西日本最大級の中・長距離バスターミナルを再開発ビルと併せて整備



新たな中・長距離バスターミナルの整備



事業推進に向けたブロック分けイメージ



再整備ビルの構成イメージ

●再整備ビルに導入する機能のイメージ



【中・長距離バスターミナル】



【高質な待合空間】



【多様な催しが可能なホール】

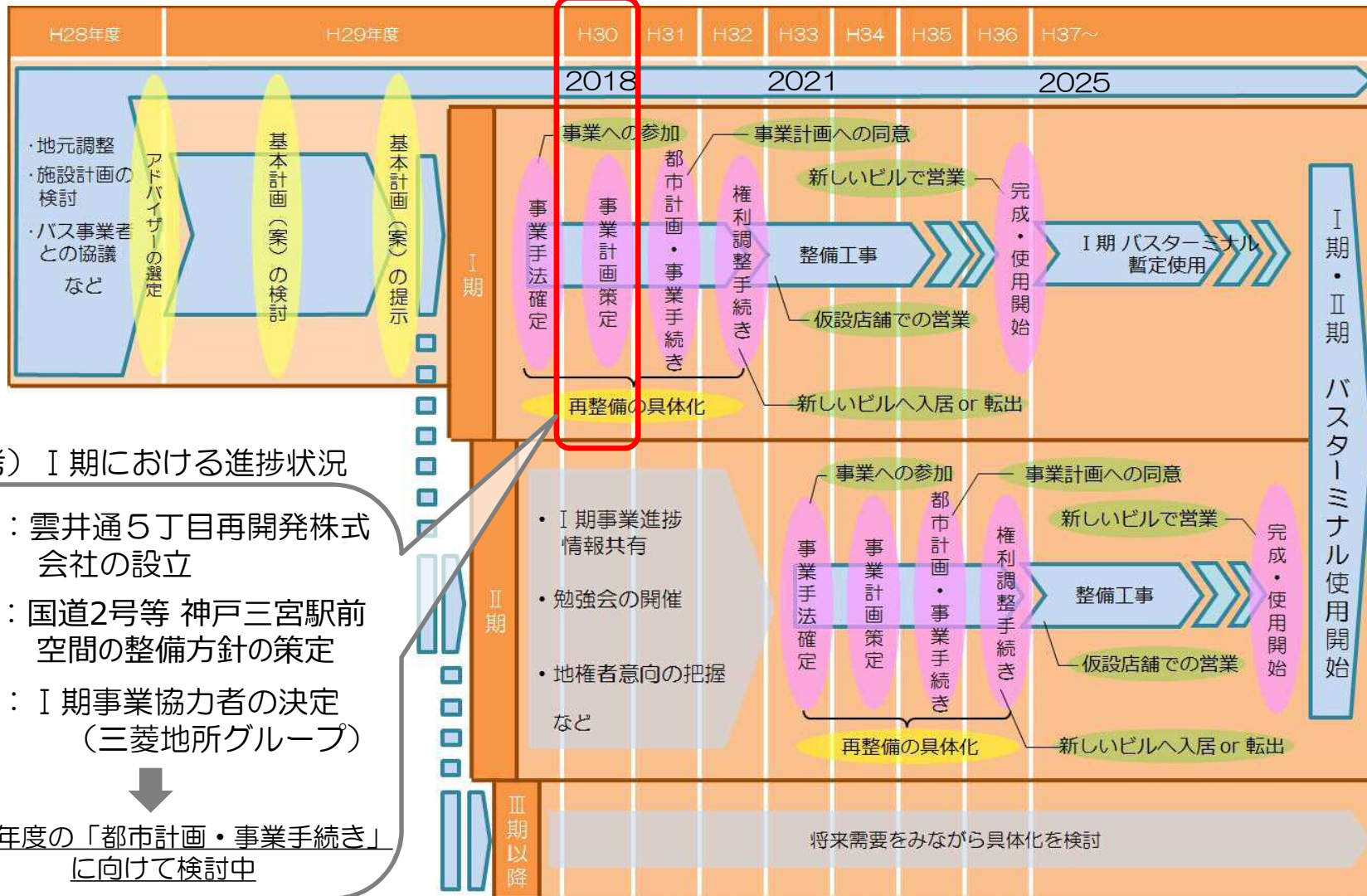


【魅力的な都心の図書館】

新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画（平成30年3月 神戸市）より抜粋

新たな中・長距離バスターミナルの整備

● 整備スケジュールのイメージ 平成30年度



(参考) I期における進捗状況

5月：雲井通5丁目再開発株式会社の設立

8月：国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針の策定

9月：I期事業協力者の決定
(三菱地所グループ)

H31年度の「都市計画・事業手続き」に向けて検討中



国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針



国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備方針

ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間の創出



駅及び国道に直結する中長距離バスターミナル、「えき～まち空間」及び「三宮クロススクエア」の整備によりひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”となる未来型駅前空間が誕生。駅・みち・まちが一体的に生まれ変わります。

三宮駅前はどう変わります！

魅力的な駅前空間の整備 及びまちの回遊性向上



三宮クロススクエアの整備や駅前広場の再編等により、魅力的かつ行き来しやすい駅前空間を創出



中長距離バスターミナル整備 によるモーダルコネクト （交通結節機能）の強化



分散するバス乗降場を集約するとともに利便性等を高め、交通結節機能を強化

えき～まち空間

三宮の6つの駅とバス乗降場をあたかも1つの「えき」とみなし、周辺の「まち」と一体的につながることで、乗り換えや「まち」への行き来がしやすい空間。

まちの防災性能の向上



非常時に待機・避難場所等として機能する屋外空間など、まちの防災性能を向上

未来志向の移動支援導入



自動運転やパーソナルモビリティなど、新たな技術導入を見据えた空間を整備

国道2号周辺の交通円滑化



デッキによる歩車分離や交差点改良等によりバスターミナル前の国道2号の交通を円滑化



事業協力者 提案内容

【三菱地所(株)を代表とするグループ】
※提案内容がそのまま実現されるものではありません

○都市のアクティビティを表現するデザイン



北東から見る建物外観



国道2号沿いの賑わい



あじさい通り沿いの賑わい

